

第 1812 回例会

日時：平成 21 年 10 月 22 日 PM12：30～13：30 場所：中島市民センター 三階 会議室

1 点 鐘

2 ロータリーソング「我等の生業」

3 会長挨拶

◇食欲の秋・行業の秋といわれるように過ごしやすい時期となりました。
 ◇商工会の工業部会の旅行と重なり欠席者が多く少し寂しい例会となった
 ◇車で走っていると「セイタカアワダチソウ」がよく見られます。外来種で繁殖力強く、日本従来からの植物が絶滅の危険がありまた環境にも良くないとのことで、豊川地区では一斉除草を 25 日に行う。皆さんも所有地にありましたら是非、環境保全のため刈り取っていただきたい。

4 出席報告 届出欠席 9 名 / 無届欠席 2 名 / 各メイクアップ 4 名 / 出席率 73.68%

5 幹事報告

◇富来 RC との交流会を 11 月 4 日行う。平日で出席者が少ないが富来 RC 主催ですのでそのまま行う。参加費個人負担 4,000 円です。
 ◇地区大会出席者の登録料自己負担 5,000 円とする。

6 委員会報告 なし

7 地区大会の報告会

★福井 晃会長の報告…本年度大会のテーマは「いま改めて日本を学ぼう」で大会の方針は、中川ガバナーの考え方「シンプル・スマート&シンシア」大会時間短縮・総予算、登録料を押さえ、実質的な内容といった事です。
 第 1 日目は、指導者育成セミナーで第一部は茶道家、千玄室氏の講演「ロータリーの未来」で中身は大雑把に語れば 100 年前のロータリー発足時いわば原点に返れと言うことじゃないかと思う。また規模が大きくなりすぎたのではないかともいつていた。第二部は「RI3 大強調事項について」①識字率向上支援について②水支援について③保険と飢餓救済支援についての講義が行われた。パストガバナー近藤俊行さんの配布された資料で 5 歳児の死亡者数と地域、その原因のデータが示されていたがこうした現状をふまえて、力を合わせて救済に取り組んでいただきたいとの内容でした。二日目ですが午前中は各委員会報告が行われた。
 ★向 卓広報担当の報告…二日目午後の報告、大会決議と委員会報告の内容を記録した資料を示して説明した。記念講演は藤原雅彦先生による「日本のこれから」でした。要約文を特集で報告します。



地区大会報告 福井会長



セイタカアワダチソウ



地区大会報告 向卓広報担当

2009～2010 年度第 2610 地区大会特集

日時：平成 21 年 10 月 3 日（土）4 日（日）石川県立音楽堂コンサートホール

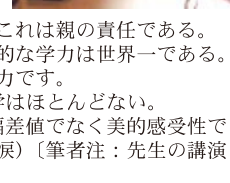
記念講演要旨 藤原 雅彦氏「日本のこれから」

10 年の日本を振り返ってみれば、「改革」、「改革」と騒がれているが、自分から見れば「改革」により、よくぞ日本の国柄を壊してくれたと言いたい。この改革を進めたのは、政治家でもない、官僚、財界でもない国民そのものである。マスコミも一切国民の悪口を言わない。「改革」とは市場原理主義によるもので、自由競争の名のもとに競争させている。これはアングロサクソンの文化で「新自由主義」の名のもと公平に競争しようという弱者、強いを一緒にの舞台で闘わせている。これは獣の社会である。人間は論理が通っていただまされやすい。「新自由主義」の名でだまされているのである。地方都市へ行けばほとんどの駅前がシャッター通りとなっている。地方分権ということは地方の面倒は見ないということです。

今までの日本のいいところは、弱いところを強いところがカバーしてきたところ。私の父は、新田次郎で、作家でした。父は私に「政治や経済の事はしゃべるな。文学や数学の事だけをやればよい。」といていたのでそれを守っていたのだが、近頃の日本を見てみると黙っていらなくなかつつ政治の事をしゃべるようになった。日本の国柄というと、初等教育のすばらしさであった。その中で国語が一番重要である。特に識字率が重要で数世紀にわたって国民の 50% 字が読めた。ロンドンが世界でもっとも発展していた頃でも 25～30% の識字率であった。この初等教育のすばらしさが、日本の国力と国柄の原点となっていたのです。これを壊したのは「新自由主義」にだまされたマスコミであり国民である。教育を悪くしているのは政治家でもなく文部科学省でもない、99% の国民が子どもを中心にしていて、これではダメで、礼節を重んじ、親切で進取に富んだ日本人を取り戻すには、小学校卒業までに、基礎をきめ細かくかつ厳しく教えていかなければならない。これは親の責任である。

先進国の中でもトップエリート層の厚さに負けているが、一般国民は皆優秀で、基礎的な学力は世界一である。日本の国土は山や谷が多く資源も少ない。今まで発展してきたのは、世界にまれなる教育力です。

日本人はいつも美しい物を目指してきた。西暦 500 年～1000 年の間に生まれた世界文学はほとんどない。しかし日本には「万葉集」「古今和歌集」はじめ多数ある。本当に大切なのは知能指数や偏差値でなく美的感受性です。情緒や武士道精神、忍耐・誠実・勇気、特に惻隱の情（弱者への思いやりとか共感、涙）〔筆者注：先生の講演の中で出た言葉〕を大切にすることが「日本のこれから」のキーワードです。



第 1813 回例会（味覚例会）

日時：平成 21 年 10 月 29 日 PM18：30～ 場所：「50 番」

1 点 鐘

2 ロータリーソング「奉仕の理想」

3 会長挨拶

◇味覚例会です、おいしいお料理とおいしいお酒で楽しい例会にしましょう。

4 出席報告 届出欠席 0 名 / 無届欠席 0 名 / 各メイクアップ 0 名 / 出席率 100%

5 幹事報告

◇富来 RC との交流会、グランドゴルフ 13 時 30 分より 懇親会は 17 時より富来「湖月館」で行います。

6 委員会報告 なし

【秋の味覚例会】

- ★親睦担当 鴻野 俊雄
- ★乾杯 福井会長
- ★中締め 津田会長エレクト



編集後記

- ・M: 地区大会すばらしい講演で全文載せたい思いでした。
- ・S: 地区大会の藤原氏の話で、何か忘れていたことを思い出させてくれたような気がしたのは、僕だけだろうか。
- ・K: 会報誌を作成させて頂きまして、毎回 勉強になります。